

岐阜女子大学デジタルミュージアムは、

岐阜県内および北海道から沖縄までの全国の文化情報を

デジタル・アーカイブ化し、館内での展示（提示）

およびその一部をインターネットで流通させている

バーチャルミュージアムです。



日時 2017/7/22（土） 10:20 - 16:35  
 主催 デジタルアーカイブ学会 岐阜女子大学  
 場所 岐阜女子大学 文化情報研究センター



# デジタルアーカイブ学会 第1回研究大会 「デジタルアーカイブの拓く未来」

**基調講演（10:30 - 11:10）**

なぜ、デジタルアーカイブなのか？  
 ——知識基盤型社会 2050 を予言する  
 東京大学教授 吉見 俊哉

プロダクト・レビュー / ライトニング・トーク（12:20 - 12:55）  
 研究発表（セッション A ~ C）（13:55 - 16:35）

**パネルディスカッション（11:20 - 12:20）**

**デジタルアーカイブ立国への道程**

- 高野 明彦 国立情報学研究所教授
- 生貝 直人 東京大学客員准教授
- 坂井 知志 常磐大学教授
- 柳 与志夫 東京大学特任教授
- 井上 透 岐阜女子大学デジタル  
アーカイブ研究所長

**ポスター発表 / ライトニング・トーク**

[P01] 学術デジタルアーカイブのエコシステムとIIIFの可能性（永崎 研宣）
[P02] 大学図書館におけるデジタルアーカイブ（時実 象一）
[P03] Visualization of Aceh Rehabilitation and Reconstruction, Indonesia (Nurjanah Jane)
[P04] 少数民族の情報を発信するためのアクティビティの実践（バリハティ グリスバ）
[P05] デジタルアーカイブにおける知的創造サイクルの実践的研究（久世 均）
[P06] 大山の大綱引きのデジタルアーカイブについて（又吉 蒼）
[P07] 地域映像アーカイブの構築と活用に関する課題：北海道・夕張市の事例から（水島 久光）

セッション(A)	セッション(B)	セッション(C)
広がるデジタルアーカイブの対象と活用	コミュニティとデジタルアーカイブ	技術・法制度とデジタルアーカイブ
[A01] 日本ポピュラー音楽アーカイブ・ミュージアムプロジェクト及びアーティストコモンスの活動について（三浦 文夫）	[B01] 沖縄における教育資料 デジタルアーカイブを活用した学力向上について（宮城 卓司）	[C01] 地理的な見方のデジタルアーカイビング（土屋 衛治郎）
[A02] 近年の震災アーカイブの変遷と今後の自然災害アーカイブのあり方について（柴山 明寛）	[B02] 地域資料デジタルアーカイブに市民参加型ウィキペディアタウンが果たす意義（青木 和人）	[C02] 無形文化資源におけるメタデータの問題点（土屋 紳一）
[A03] 災いのオーラル・ランドスケープ（渡邊 英徳）	[B03] アイヌ衣服・文様のデジタルデータ作成方法に関する検討（皆川 雅章）	[C03] メタデータの視点に基づくアーカイブとそのコンテンツのモデル化（杉本 重雄）
[A04] 広がるデジタルアーカイブ 映像遺産の保存と活用：科学映像館活動10年のあゆみ（久米川 正好）	[B04] 白川郷和田家デジタルアーカイブにおける地域資料の継続的な記録と保存（谷 里佐）	[C04] Linked Dataを用いた平賀譲デジタルアーカイブの構築と活用（中村 寛）
[A05] デジタルアーカイブ化した後の資料活用方法（河合 郁子）	[B05] 日常生活圏におけるデジタルアーカイブの撮影方法とメタデータの開発（町 英朋）	[C05] デジタルアーカイブの公開と権利の状況（時実 象一）
[A06] デジタルアーカイブと人材育成（三宅 茜巳）	[B06] 自治体史編纂における資料の収集と保存の現状（粕谷 亜矢子）	[C06] 映像のデジタルアーカイブに関する法制度と改正動向（数藤 雅彦）